

郷土の発展支える人を育てる

県では、東日本大震災の発生以前から、自らが社会で果たすべき役割を主体的に考えながら、よりよい生き方を目指す「みやぎの志教育」を進めてきました。震災後、避難所となった学校では、小・中・高校生が自ら進んで行動を起こし、避難生活を送る方々のために貢献する姿が見られました。本県の復興と将来の発展を支える子どもたちを育てるため、今後も志教育などのさまざまな取り組みを進めていきます。



今後の志教育

県では、引き続き推進地区を指定して、志教育の取り組みを全県に広げるとともに、事例の情報発信事業、高校生などによる地域貢献推進事業などを実施し、各学校や地域が、10年後、20年後の子どもたちの姿をイメージしながら、その地域の特徴などに応じた志教育を進められるよう支援していきます。



小・中学校連携によるあいさつ運動



部活動ごとの奉仕活動

志教育推進地区の取り組み例

【亶理地区】
亶理町内の全小・中・高等学校
「あいさつ運動」「クリーン活動」「自転車マナーアップ」など、各学校の取り組みを全町上げての取り組みに発展させ、その活動状況などの事例発表会を実施。

【東松島地区】
東松島市全体の取り組み
「心あつたかいらい運動」「あいさつ運動や清掃などの奉仕活動」を、小・中・高等学校で連携して実施するほか、中学生の部活動ごとの奉仕活動や高校生の小学校訪問による読み聞かせボランティアなど、学校を超えた活動を実施。

志教育の取り組み

県では、子どもたちが、県にゆかりのある先人の生き方や考え方を学べる教材として「みやぎの先人集 未来への架け橋」を作成しました。また、全県的な取り組みとして、高校生に社会の一員としてマナーを守る意識を持たせるための活動「マナーアップ運動」を展開しています。さらに、志教育推進地区を指定し、地区の実態や特性に応じた取り組みを進めています。

震災の経験と志教育

東日本大震災では、学校関係の施設が甚大な被害を受けました。その一方で、多くの学校が地域の避難所になるなど、重要な役割を果たしました。避難所となった学校では、小・中・高校生が、避難生活を送る方々のために貢献する姿が目立ちました。身を置いて災害復旧に携わる方々の姿や避難所での教師や地域の方々の姿を見て、子どもたちに「自分たちも役に立ちたい」という思いが生まれ、前向きな姿勢となって表れたものと考えられます。

「みやぎの志教育」とは、小・中・高等学校の全ての時期を通じて、人や社会と関わる中で、社会性や勤労観を養い、子どもにも、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、よりよい社会人としてのよりよい生き方を自ら考え、求めていく姿勢を育てる教育です。県では、特に、「人とかがわる」「よりよい生き方をもとめる」「社会での役割を「はたす」の3つの視点から教育活動を行うことにより、社会に貢献する意識を醸成し、新しい宮城をつくる担い手となる社会人の育成を図ることとしています。

【志教育のイメージ】

志の高い人材育成を支援します

人生の道しるべと出会う

「みやぎの先人集」を監修
宮城教育大教職大学院 相澤秀夫教授

宮城県教育委員会が小学5、6年生向けに道徳などの教材(資料)として発行した「みやぎの先人集 未来への架け橋」で監修を務めた。作成委員らの「労苦の結晶」と出来栄を高く評価し、教育面での効果を期待する。

「次代を担う子どもを、考え深く、たくましく、豊かに生きていく人間として育てるのが、教育の課題の一つです。自分で考え、自ら人生を切り開く、そんなモデルが必要になります。宮城に生きた人たちの中にも、社会や世界のために活躍したお手本が大勢います。先人の生き方を参考に、たくましく生きてほしい。相澤教授は先人集の積極的活用を願う。

力強く生きた先人たちがもたらした苦難に負けず立ち向かった。そうした姿をあえて盛り込んで読み物として仕上げた。

「先人たちが時に迷い、悩みました。でも一人一人が困難を打ち破り、道を開いています。苦しみや挫折の経験をどう乗り越えたのか、そこを子どもたちに学んでほしい。課題解決に向き合うことは豊かな学びになり、ひいては生きる支え、人生の道しるべになります」と相澤教授は話す。

先人の人選には苦労と工夫があった。地域に埋もれていたような先人も掘り起こし、その人生に再び光を当て1人4ページほどに凝縮させた。

「志を抱いて活躍した先人と、今を生きる人をつなぐ架け橋としての役割を果たします。子どもたちだけでなく広く県民に読んでほしいと思います」と相澤教授は大人にも読んで欲しいと呼び掛けている。

11月は「みやぎ教育月間」です

県民の皆さんに教育への意識を高めていただくとともに、家庭・地域・学校が連携して教育の充実と発展に努めて、明日の宮城を担う子どもを育てるため、毎年11月1日を「みやぎ教育の日」と定めています。

また、毎年11月を「みやぎ教育月間」として定め、みやぎ教育の日推進大会など、関係団体がさまざまな行事を行います。ぜひ、ご参加ください。

※関連行事など詳しくは、ホームページをご覧ください。

みやぎ教育の日 検索

マナー向上へ高校生奮闘

県下で秋のキャンペーン

「みやぎ高校生秋のマナーアップ・キャンペーン」が10月に展開され、県内の高校生たちがJRの最寄りの駅や列車内で公共交通機関の乗車マナー向上を呼び掛けた。

キャンペーンは、高校生がマナーを考える中で規範意識を身につけ、社会人としての基礎力を育むのが狙い。県内で計56校が参加し、JR34駅で運動を実施した。

キャンペーンのオープニングセレモニーが8日にJR古川駅、9日にJR仙台駅で行われた。JR仙台駅では、構内のステンドグラス前で実施し、仙台一、仙台二華などの10高校から生徒50人が参加した。宮城県の高橋仁教育長が「マナーアップ運動を通して社会との関わり、自分の果たすべき役割などを考えてください。自ら行動を起こすことで社会がより良くなります」とあいさつ。連携してキャンペーンを推進するJR東日本の林健一仙台駅長は、高校生たちを激励した。

生徒を代表して宮城県工業高3年の佐藤佳紀君が「高校生のマナーアップ運動、頑張るぞ」と威勢よく掛け声を発した。

この後、生徒たちは中央改札口などで乗降客にティッシュペーパーを配り、爽やかな乗車マナーなどを願った。放送部の部員らは駅の構内アナウンスや車内アナウンスでキャンペーンへの理解と協力を訴えた。佐藤佳紀君は「JRを利用する際のマナーの大切さにあらためて気がきました。仙台駅を利用する皆さんが心掛けてくれれば、マナーアップにつながると思います」と話した。構内アナウンスを担当した仙台二華高2年の阿部日向子さんは「朝の仙台駅は人が多いので、やりがいがありました。マナーが向上して素晴らしい宮城県になってほしい」と感想を述べた。

企画/県広報課 ◎お問い合わせ/小・中学校の志教育に関すること: 県義務教育課 022(211)3645 高等学校の志教育に関すること: 県高校教育課 022(211)3626

県からのお知らせ

「消すまでは 心の警報 ONのまま」～秋季全国火災予防運動～

11月9日から15日まで、全国一斉に秋の火災予防運動が行われます。これからは、火を扱う機会が増え、空気が乾燥することから、火災が発生しやすい時季となります。火の取り扱いには十分注意し、家庭や職場で声を掛け合い、火災の発生を防ぎましょう。※住宅用火災警報器が適切に機能するためには維持管理が重要です。定期的に作動確認とお手入れをしましょう。

◎ 県消防課 ☎ 022(211)2374

第44回宮城県交通安全県民大会

県民総参加による交通安全運動(マナーアップみやぎ運動)をより一層推進するため、宮城県交通安全県民大会を開催します。

◎ 内容/交通安全功労者などの表彰、交通安全宣言、県警音楽隊によるアトラクション
◎ 日時/11月12日(火)午後1時～3時
◎ 場所/仙台芸術文化センター(えずこホール)
◎ 費用/無料(申し込み不要・入退場自由)

◎ 県総合交通対策課 ☎ 022(211)2438

灯油の取り扱いに注意しましょう

秋から冬にかけて灯油を使う機会が多くなり、家庭のホームタンクからボリタンクに灯油を移すときなどに、目を離したり、バルブを開け忘れたりしたために、灯油が流出する事故が増えてきます。

流れた灯油は、水路や河川に流れ出ると、環境を汚染するほか、火災の原因となり、貴重な生命や財産が失われる危険もあります。灯油の取り扱いには十分注意をお願いします。

もしも灯油が流出したら、速やかに県土木事務所、市町村または最寄りの消防署に連絡してください。

◎ 県河川課 ☎ 022(211)3172

平成25年度産業廃棄物排出事業者講習会

◎ 内容/産業廃棄物の内容や改正状況、廃棄物の減量化などについての説明
◎ 日時/場所/11月19日(火)・県自治会館11月20日(水)・県大原河合同庁舎

白石高等技術専門学校 受検者向け訓練(2日間) 受講者募集

◎ 内容/Excel2007 応用
◎ 対象/定員/在職中、求職中の方・10人(応募多数の場合は抽選)
◎ 訓練期間/12月14日(土)、15日(日)
◎ 費用/受講料無料、教材費2100円
◎ 申し込み/11月13日(水)消印有効)までに、往復はがき、Eメールに必要事項を記入し、下記へ

◎ 白石高等技術専門学校 ☎ 0224(35)1511
Eメール srkogs-n@pref.miyagi.jp
〒989-1102 白石市白川津田字新寺前 5-1
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/srkogsn/

平成26年度 県高等看護学校学生募集

◎ 出願資格/准看護師の免許を有する方(取得見込みの方を含む)で、高等学校(中等教育学校を含む)等を卒業または卒業見込みの方
◎ 定員/40人
◎ 試験日/平成26年1月8日(水)、1月9日(木)
◎ 出願期間/11月28日(木)～12月6日(金)(消印有効)
◎ 願書/下記で配布(郵送を希望する場合は郵便番号/住所/氏名を記入し、140円切手を貼った返信用封筒(角2)を同封し、下記へ請求)

◎ 県高等看護学校 ☎ 022(384)2266 FAX 022(384)2285
〒981-1239 名取市東島橋字中田 35-1
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kougkan/

みやぎジョブカフェ「合同適性試験&合同企業説明会」

◎ 内容/①合同適性試験(事前予約可)②合同企業説明会
◎ 対象/平成26年3月大学等卒業予定者(既卒3年までの者を含む)、若年求職者(39歳以下)
※当日は学生証・運転免許証などをご持参ください。
◎ 日時/場所/11月22日(金)仙台市情報・

産業プラザ①午前10時30分～午後4時30分(午前10時から受け付け)・セミナーホール(アエル6階)②午後1時～5時・多目的ホール(アエル5階)

◎ 費用/無料
◎ みやぎジョブカフェ(中小企業雇用促進支援事業) ☎ 022(745)0007
http://www.miyagi-jobcafe.jp/

平成25年度みやぎ子ルブル推進会議総会・講演会

子どもの基本的生活習慣「しつかり環り」「きちんと食べべ」「よく遊ぶ」で「健やかに伸びる」(ルブル)の大切さを学び、実践していただくための講演会などを開催します。

◎ 内容/ルブル推進優良活動団体表彰、事例発表、講演「しつかり環り」ことの大切さについて(講師:東北大学教授 川島隆太氏)
◎ 定員/195人(先着順)
◎ 日時/11月20日(水)午後2時～4時
◎ 場所/パレス宮城野「はぎの間」
◎ 費用/無料
◎ 申し込み/11月5日(火)～11月15日(金)にホームページから電子申請、またはEメール、ファクシミリにより下記へ

◎ 県教育企画室 ☎ 022(211)3616 FAX 022(211)3699
Eメール kyokuppp@pref.miyagi.jp
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyou-kikaku/

松島高校と水産高校に新たな学科等ができます

魅力ある高校づくりの一環として、平成26年度から、次の2校に新たな学科等を設置します。

【新設する学科等と教育内容】
◎ 松島高校/観光科: 地元の観光資源を活用し、おもてなしのこころと高いコミュニケーション能力を身に付ける
◎ 水産高校/調理師科: 地元の食材、食文化、水産物を中心とした調理法を学び、調理師免許の取得を目指す

◎ 松島高校 ☎ 022(354)3307
http://www.matsushima-hs.myswan.ne.jp/
◎ 水産高校 ☎ 0225(24)0404
http://miyagisuisan.myswan.ne.jp/

※日程や申込方法など、各記事のより詳しい内容は欄にお問い合わせください。アドレスを掲載している記事は、ホームページにも詳しい情報があります。

女性医師による女性の健康相談

女性の健康増進や禁煙に関する相談、思春期や更年期に伴う身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレスなどで悩んでいる女性の相談に応じます(完全予約制、相談無料)。

◎ 相談日/11月16日(土)
◎ 開催地/大原河町
◎ 場所は予約時に伝えます。
◎ 予約先/☎090(5840)1993(平日午前9時～午後5時)
※予約は上記携帯電話のみで受け付けます。

◎ 県健康推進課 ☎ 022(211)2623

大崎高等技術専門学校 電気工事士追加習得訓練 受講者募集

◎ 内容/第一種電気工事士試験の技能・技術習得訓練
◎ 対象/定員/在職中の方・10人(応募多数の場合は抽選)
◎ 訓練期間/11月21日(木)、22日(金)
◎ 費用/無料
◎ 申し込み/11月14日(木)までに、電話、またはファクシミリにより下記へ

◎ 大崎高等技術専門学校 ☎ 0229(22)1357
FAX 0229(22)8627

「新食材試食研修会」開催

県農業・園芸総合研究所と古川農業試験場で開発・研究中の新食材や、県内各地の食材を紹介する研修会を開催します。

◎ 対象/県内レストラン・ホテル・旅館の料理関係者、製菓業者、食料流通関係者、生産農家など
◎ 日時/11月14日(木)午後1時～3時30分
◎ 場所/県農業・園芸総合研究所 ☎ 022(796)1043
http://www.miyagi-pho.jp

宮城県立病院機構職員(看護師)募集

◎ 職種/募集人員/看護師・5人程度
◎ 給与・待遇等/法人の規定による
◎ 試験日/12月8日(日)
◎ 試験会場/宮城県立がんセンター
◎ 申込期間/11月28日(木)(消印有効)
◎ 採用予定日/平成26年4月1日以降

◎ 県立病院機構本部事務局企画総務課 ☎ 022(796)1043
http://www.miyagi-pho.jp

企画/県広報課